

2025年3月31日

住友生命保険相互会社

資産運用を通じたポジティブ・インパクトの更なる創出に向けた 取組みについて

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、ESGテーマ型投融資の現中期経営計画期間（2023～2025年度）の3か年累計目標を1兆円に引き上げるとともに、ヘルスケア領域のインパクト投資を推進する国際イニシアティブ「Triple I」に加盟することとしました。加えて、資産ポートフォリオの2030年GHG削減目標について、対象を住友生命単体から、メディケア生命を含めた、国内グループ会社に拡大しました。今後、資産運用を通じた社会・環境課題解決への取組みを一層推進していきます。

1. 住友生命の責任投資の取組み

住友生命は、中長期的な「ありたい姿」を示す「住友生命グループ Vision2030」において、「一人ひとりのよりよく生きる＝ウェルビーイング」に貢献すべく、注力領域として「ウェルビーイング貢献領域」を掲げ、社会・環境課題の解決に積極的に取り組んでいます。機関投資家の側面からは、環境・社会課題などサステナビリティを考慮した資産運用「責任投資」を推進しています。

住友生命は、責任投資のレベルアップに継続的に取り組んできており、2024年度のPRI（責任投資原則）年次評価では、昨年度に引き続き、対象となる2項目のいずれも最高評価の5つ星を獲得しています。

【2024年のPRI年次評価結果】

項目	概要	評価結果
ポリシー・ガバナンス・戦略	責任投資やステークホルダーシップ活動における方針、ガバナンスおよび戦略等	★★★★★ (5つ星)
報告内容の信頼性	報告データのレビュー、第三者保証等	★★★★★ (5つ星)

2. ポジティブ・インパクトの創出に向けた取組み

a. ESG テーマ型投融資の目標金額引上げ

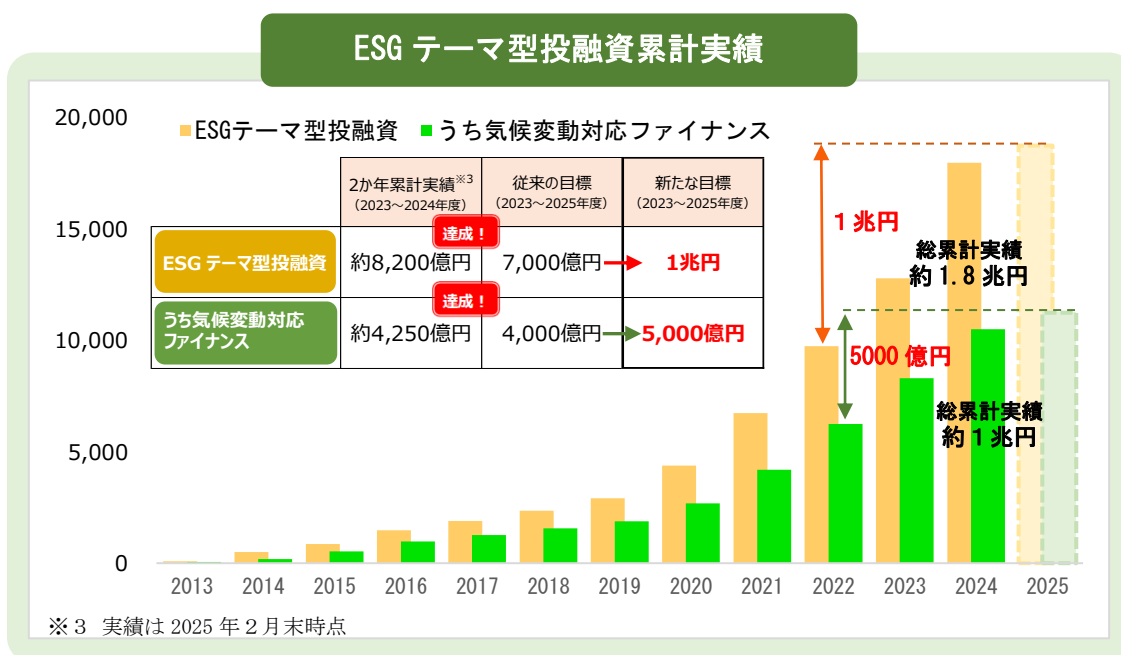
住友生命の責任投資は主に「ファイナンス」と「投融資先との対話」の両面から取り組んでおり、ファイナンス面では、社会・環境課題解決を目的とした投融資「ESG テーマ型投融資」の実行目標額を設定し、4つのウェルビーイング領域におけるポジティブ・インパクト※¹の創出に積極的に取り組んでいます。

住友生命は、中期経営計画期間（2023～2025年度）において、ESG テーマ型投融資の3か年累計実行目標額として7000億円（うち気候変動対応ファイナンス4000億円）を設定し、実行してきました。積極的な取組みの結果、2024年度までの2か年で目標額を達成したことから、更なるポジティブ・インパクトの創出を目指し、3か年累計実行目標額を1兆円（うち気候変動対応ファイナンス5000億円）に引き上げます。

特に、インパクト投資※²に積極的に取り組み、投融資の実行後には、ウェルビーイング貢献領域におけるポジティブ・インパクトの計測、およびフォローアップを行うなど、引き続き、責任投資の高度化を図っていきます。

※¹ 投融資が環境・社会・経済に与える良い影響を意味します。

※² 金銭的なリターンと並行し、インパクトの創出を意図し、インパクトの計測・管理を実施する投資手法です。



ポジティブ・インパクトの創出

地球環境の
改善

健康増進への
貢献

人財の活性化
・エンゲージメントの向上

充実した暮らし・
世代を支える

b. Triple I for Global Health への加盟

住友生命は、インパクト志向金融宣言およびインパクトコンソーシアムに加盟し、知見の獲得等を図ることにより、インパクト投資の推進や取組みの高度化に繋げてきましたが、今般新たにヘルスケア領域のインパクト投資を推進する国際イニシアティブ「Triple I for Global Health」(以下「Triple I」)に加盟しました。



**Impact Investment Initiative
for Global Health**

Triple I は、2023 年 5 月の G7 広島サミットにおいて承認され、医療アクセス向上などのグローバルなヘルスケア領域における社会課題の解決を目指すイニシアティブです。Triple I の取組みは、住友生命が目指す豊かで明るい健康長寿社会の実現に寄与するものと考え、加盟することを決めました。

Triple I は、2023 年 5 月の G7 広島サミットにおいて承認され、医療アクセス向上などのグローバルなヘルスケア領域における社会課題の解決を目指すイニシアティブです。Triple I の取組みは、住友生命が目指す豊かで明るい健康長寿社会の実現に寄与するものと考え、加盟することを決めました。

住友生命は、Triple I への参画を通じ、グローバルな知見を獲得することで、ヘルスケア領域でのポジティブ・インパクトの創出の拡大を目指します。

3. 資産ポートフォリオの 2030 年 GHG 削減目標の対象範囲の拡大

資産ポートフォリオの温室効果ガス排出量の 2030 年目標については、従来は住友生命単体での目標としておりましたが、メディケア生命を含めた、国内グループ会社としての目標とします。

「住友生命グループ Vision2030」では、カーボンニュートラル実現に向けた絶え間ない取組みによる「地球環境の改善」を掲げており、本件はその取組みの一環です。

引き続き、責任投資を通じて投融資先の脱炭素化を後押しするなど、住友生命グループとして、気候変動対応を推進していきます。

	見直し前 ^{※4}	見直し後
対象範囲	単体	国内グループ会社 (住友生命+メディケア生命)
目標水準	インテンシティ ^{※5} ▲50%(2019 年度対比)	同左
対象資産	国内外の上場株式・社債・融資・ 投資用不動産・インフラ投資	同左

※4 詳細は以下の URL をご参照ください。

<https://www.sumitomolife.co.jp/about/newsrelease/pdf/2022/230324a.pdf>

※5 資産ポートフォリオの GHG 排出量÷資産ポートフォリオ残高(保有残高当たり GHG 排出量)。

以上